

高松市生涯学習センター 生涯学習推進事業（センター利用促進事業）

「キッズ木工教室～作ってあそぼう！コリントゲーム！～」を開催しました。



令和2年7月23日木曜日に、木工教室癒楽木主宰の青木節子さんを講師にお迎えし、小学生を対象に「キッズ木工教室～作ってあそぼう！コリントゲーム！～」を開催しました。

材料は県産ヒノキを使用しました。まず、材料の木についてのお話があり、実際に材料の木の年輪を数えてみたり、匂ってみたりしました。ヒノキのいい香りにしばし心が癒されたようでした。



そしていよいよ制作。まず始めに木枠を作りました。保護者の方に木枠を持ってもらいながら、最初は、恐る恐る釘を打っていましたが、次第に釘を打つ音が「トン、トン、トン」と軽快な音になり部屋に鳴り響きはじまりました。木枠の材料には事前に、釘を打つ所に穴があけられており、金づちを初めて持つ子も安心して、釘を打つことができていました。



木枠ができるとベニヤ板に木枠を貼り付けるため、再び、釘で打ち付けました。また、釘を打つ金づちの「トン、トン、トン」と軽快な音がしばらく鳴り響きました。

次は、ビー玉を押し出すピストンを講師の説明を聞きながら設置しました。

後は盤の各所に釘を打ったり、盤のデザインを考えながら木を並べていきます。セットされた木材以外にもいろいろな形をした木が準備されていたので、木を選び講師にのこぎりで切ってもらったりしながら、子どもたち

は思い思いの形に組み立てながらボンドで接着し、作品を作っていました。あとは、絵の具やペンを使って色を付けしたり絵を描いたりしました。今回15名の参加がありましたが、誰一人同じデザインの子はいませんでした。改めて、子どもたちの感性のすばらしさに驚かされました。今回の講座を通して木を使ったものづくりの楽しさを親子で体感していただけたのではないかと思います。

